

2020年9月16日

ふくしまっこ・つながるこども食堂応援プロジェクト

助成金事業（2020年度）審査結果について

ふくしまっこ・つながるこども食堂応援プロジェクト
助成金事業 事務局（公財）地域創造基金さなぶり

前略

この度、福島県内の子ども食堂にかかる取組みを支援する資金提供事業に関して、ここに結果を公表致します。この場をお借りし、改めてご寄付を頂いた福島県内外の個人・法人の皆様への御礼を申し上げます。

今回の公募におきましては、全23件総額564万円の申請をいただきました。申請いただいた23件の事業については、いずれも福島県内の子どもを取り巻く状況の改善にむけ、大変意義のあるものです。審査会の審査により、別紙の事業を採択しましたので、ここにご報告申し上げます。

本事業は、今後とも福島県内の子ども、或いは子ども食堂といわれる地域における支え合いの取組みについて、引き続きご関心を賜れば幸いです。

草々

【お問い合わせ】

ふくしまっこ・つながるこども食堂応援プロジェクト 助成金事業 事務局

公益財団法人 地域創造基金さなぶり 担当：鈴木・雨田

〒980-0804 宮城県仙台市青葉区大町1-2-23 桜大町ビル602

TEL: 022-748-7283 FAX: 022-748-7284 E-MAIL: fukuko@sanaburifund.org

※現下の社会状況につき事務所勤務を制限しており担当者が不在です。追加のご連絡がありましたら、次の番号にお願い申し上げます。 090-8305-1475 鈴木

総評

今年の事業は、幅広い団体の皆様からのご関心を頂き、応募総数 22 件・申請総額 564 万 4 千円という結果になりました。外部の審査員による審査の結果、採択件数は別紙のとおりということで倍率が高い結果となりました。全体感として、様々な地域の様々な主体による子ども食堂等の活動の展開がみられましたが、その審査のなかでの指摘された事項の主要な点について簡単にまとめますので、本事業にかかわらず今後の資金調達活動のご参考になれば幸甚です。

本助成事業は県内外の個人・法人の皆様からの寄付が原資となっており、審査過程においてもその観点からいくつかの重要な記述が求められます。

第一に記述内容の明瞭さです。これは文章の長短ではなく、審査に必要な情報を申請書に記載を頂きたいと考えて項目を設定していますが、その事柄がしばしば見当たらないことがあります。抽象的に言えば「申請者の皆様にとっての自明の理を、審査員が理解できるように」という点です。具体的には、皆様は現場がどのような場所で、どのような親や子どもが来訪して、どういうことに注意して取り組んでいるかは「言うまでもない」事柄ですが、審査委員にとっては初めて知る事柄も多く、例えばいつ、どこで、どのような子どもを対象に、どういうことを重視しているのか、また予算書に計上されている器具備品がなぜ必要なのか、そのようなことの記載が見当たらないケースがあります。「片親の方の困っているという声から必要性を感じて取り組み始めたが、実際には多くのシングルの親子に集まってもらっている」というたった一行でさえ、審査員にとっては皆様の視点や価値観を推し量る材料になります。また、外国に背景をもつ子どもの参加がある場合、保健や福祉の専門家の参加についても同様です。

第二に、貴団体の特色と地域との関係づくりです。昨今の活動の広がりから、地域の子どもや親、高齢者等の方々を対象に、食事・食材の提供を図る事業はそれだけでも尊い活動である一方で、実際はそれだけでは実際の活動は成り立っていないのではないかと考えています。例えば、広報に際してチラシを作製してもどこに配るのか、どうすれば必要なお家庭に届くのかという点では、学校の校長先生や社会福祉協議会、或いは民生委員や児童委員、町内会や自治会の会長、小児科や小児歯科、産婦人科等、関係がありそうな場所は多岐にわたります。また、「我が町の子どものことを話す会」などと称して、子ども食堂として取り組みたい考えや、子ども食堂にどのような親子が来ているのかというような状況をお伝えしつつ、関係機関の方の問題意識等を意見交換し、活動をよりよくしていくための話し合いの場づくりもあるかもしれません。地域の活動や市民活動はよく「借り物レース」というようなことが言われるのは、一人や一つの団体で完結しにくいばかりか、完結しないほうが良い活動が展開できるからと言われます。責任の所在は明確にする必要もありますが、チラシ配布の協力、食材の提供や寄付、調理や子どもと将棋をさしてもらうボランティア等、様々な人が活動を通じてかかわり、知り合い、元気を分け合う時間ができるからだろうと思います。そういう意味では、参加者募集だけではなく、様々な協力を

依頼しながら支えあうという関係が、子ども食堂を通じた地域の一つの姿ではないでしょうか。食堂としての食事の提供と参加者集めの進展に伴い、開催回数を増やすだけではなく、関わってくれる人の得意分野や地域性に即した活動の展開、開催時間の設定、専門家のかかわり等に取り組んで頂き、ぜひ皆様の団体ならではの特色ある活動の展開を期待しております。

以上

別添:ふくしまっこ・つながるこども食堂応援プロジェクト 助成事業:2020年 審査結果

作成:地域創造基金さなぶり

番号	団体名	団体の 本拠地	助成決定額
1	かふえふらす郡山	郡山市	240,000
2	コスモスグループ	本宮市	257,000
3	特定非営利活動法人NEXT しらかわ	白河市	108,000
4	まちなか広場Perch	郡山市	90,000
5	特定非営利活動法人0073	福島市	50,000
6	つばさ会	郡山市	250,000
7	北信カルバリー子ども食堂	福島市	125,000
8	公益財団法人星総合病院 大町キッズベース	郡山市	230,000
9	特定非営利活動法人シェア・ラブ・チャリティーの会	福島市	250,000
10	特定非営利活動法人つなぐ舎	会津若松市	250,000
11	会津OHANA	会津若松市	250,000
			2,100,000